※メーデーには全員参加しよう！　大牟田＝午前九時半　荒尾＝午前十時

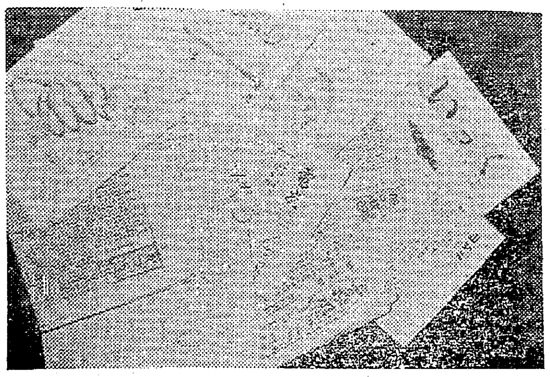
「ていぼう」が入選一位
三鉱労組第一回機関紙コンクール

昨年ごろより地域の機関紙活動が非常に活ぱつになつてきました。地域活動の先頭に立つて、文化、教宣面で大きな底力となつていくことは喜ばしい傾向です。

編集部では既報のように、第一回職域地域の機関紙コンクールを計画し、募集を行つた結果、十八紙が集められました。早速慎重な選考にとりかかり、宮川組合長、花園次長、平島編集部長、それに九炭労浦本教宣部長、機関紙協会九州支部事務局長の森一作氏らが審査員として審査に当つた結果、つぎのように決定しました。

×　×　×

入選一位「ていぼう」（三川支部新港地域分会）
入選二位「歩一歩」（宮浦支部朝日丘地域分会）
入選三位「いつく」（三川支部外来一区地域分会）
○佳作「暁報」（三川支部暁地域分会）
〃「うたごえ」（三川支部颯地域分会）
○努力賞「かつら」（三川支部桂地域分会）
〃「すみれ」（三川支部すみれ地域分会）
〃「電友」（三川支部電気分会）
〃「協風」（宮浦支部大砂地域分会）



食欲をそそる品

総評

前回二月行われた三川支部のコンクールのときにくらべて、こんどは、参加紙もぐつと増えしかも技術的にも、ほとんどがまず見やすい—したがつて読んでみようとする気をおこさせる機関紙誌になつていることは、よろこばしい。今回は、主として、その内容、編集会議のもち方、系統性、企画性を中心にみた。

もちろん職場新聞であるから、いかに多くの組合員や家族が編集に参加しているかを中心に考えて審査を行つたが、前回にくらべて、この点でも大きな前進を示しており、ほとんどの機関紙誌が、定期に編集会議をもちガリ切りも分担して人々の創意性を尊重してきていた。

コンクール出品用としてだけでなく、いまの調子をそのまま、そして、さらにあらゆる大衆の創造性を組織して（職場新聞自体がその武器だから）編集をすすめていかれることをのぞみたい。

楽しみながら編集

なお第一位に決定した「ていぼう」の短評はつぎの通り。以後、毎週各紙（誌）にわたつて短評を掲載いたします。

「ていぼう」短評

前号、前々号にくらべて、かたさ冷たさがなくなり、一号ごとに、よくなつてきているのが目立つ。

前号の反響をよくくみとり、そこからつぎの号の方向をだしておりそれが実に地について、職場に腰をおろして、とりくまれていることが、にじみでている。編集員たちが、義務感でなく、楽しみながら、つくつている。投稿も増え、時宜に適した企画が職場に討議をおこしていることがわかる。

メーデー写真募集

第二十八回中央メーデー実行委員会および大地評メーデー実行委員会ではメーデー写真コンクールをつぎの要領で募集していますので奮つてご応募下さい。

題材は〃今年のメーデーにちなむ一切の作品〃（メーデー当日、前夜祭、メーデー準備など）

【全国メーデー】
○締切　五月三十一日
○種目　第一部（キャビネ）、第二部（六ツ切以上）、組み写真は第二部として扱う。
○賞（第一部）一等一名、二等三名、三等十名、入選百名
（第二部）一等一名、二等二名、三等五名、入選五十名
○発表　六月中旬各組合機関紙
○審査員　木村伊兵衛、土門拳、田村茂の各氏
○送先　東京都港区芝三田四国町二ノ六　第28回メーデー全国写真コンクール事務局

【大牟田メーデー】
○種目　第一種　キャビネ型
第二種　六ツ切型以上
○審査　実行委員会から委嘱した専門家三名
○賞（第一種）一等一名、二等一名、三等一名、入選四名
（第二種）一等一名、二等一名、三等一名、入選四名
○団体賞　市長杯
○単組（駅伝チーム）註　三鉱労組の場合は各支部
第一種、第二種　各五点
（個人参加分）審査写真として提出し、十点方点で点数を合算し最高点数を占めた単組を表彰し市長杯を授与する。
○締切　五月二十日午後四時
○送先　各単組教宣部を通じ大地評
○発表　各組合機関紙

＝映画紹介＝
マレー死の行進
アリスのような町

原作はイギリスでベストセラーになつたネヴィル・シユートの「アリスのような町」で、迫力のある記録的描写によつて戦争という人間の愚かな行為を悲劇的に表現している。一九五六年カンヌ映画祭に英国が出品しようとしたのを日本政府の抗議で沙汰やみになつた問題の作品である。はたして排日毎日映画か……。

【ストリー】一九四一年十二月八日の真珠湾事件直後に日本軍はマレー半島北端に上陸し、翌年二月英国人は火急シンガポールへ避難した。ジーン・パジエツト（ヴアージニヤ・マツケンナ）は兄と一緒にクアラ・ルンプールにあるゴム会社に勤めていた。ところが逃げ遅れたジーンたちは途中で数十名の英人とともに日本軍の捕虜になる。男たちはそのままトラツクで収容所へ、十三名の婦人と子供たちは炎天のもとシンガポールまで徒歩で行くことを命じられた。連日の難行にポーランド夫人は息を引取つた。或る日オーストラリヤ人の捕虜ジヨー・ハーマン（ピーター・フインチ）は日本軍のトラツクを運転して行く途中、一行の姿を認めひそかに手紙と食糧品の包を投げ与えた。

夜になつてジーンとジヨーは監視の眼を盗んで会い互いに深い理解と愛情とを感じ合う。ジヨーは故郷の小都市アリスの話をして一つの理想郷をつくりたいと熱心に語る。そしてその夜、彼は営谷大尉の鶏を盗み出して彼女に与えるが、これが発覚してハリツケの刑に合う。一行は沼沢地帯にさしかかり倒れるものが続出して幾つかの生命が失われて行く。八月になつてやつとコタバルにたどりついたとき、終始忠実に一行の道案内をつとめてきた高木軍曹もマラリヤで倒れた。瀕死の彼が「写真、写真」と叫ぶのをきいてジーンは彼の子供の写真を取り出し握らせてやる。そのときジーンたちははつきりしつた。戦争とは何とみじめなものだろう、国境的差別をこえて不幸の英国婦人たちは高木軍曹につながる人類愛を感じるのだつた。

終戦、そしてジーンはジヨーが生きていることを知つたのだつたやつとのことで再会した彼等の抱擁の価格は二人にとつて高価なものであつた。そして平和をかちうるためには日本も英国も沢山の犠牲を払つたのだつた。ジーンは戦争という罪悪を通じて悲しく辛い思い出で一杯だつた。しかし、これからは二人の前に建設がある。

（写真はその一場面）
＝卅一日から銀星＝

囲碁教室（7）
欠眼（カケメ）の筋

第一図、白1のノゾキがこの黒に対して筋に当ります。白1と打たれると黒い、ろと眼を持つてもその眼は欠眼です。黒が1と打つと、ここに眼形をもつことができて黒石が安定しますこれを形につくといいます。

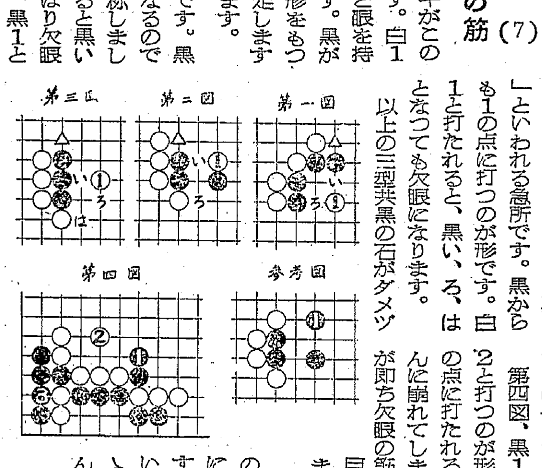
第二図、白1が手筋です。黒が1と打つとタケフになるので「タケフの筋」とでも称しましようか。白1と打たれると黒い、ろと眼をもつてもやはり欠眼です。白1を防ぐには、黒1とタケフに並んでも勿論悪くはありませんが、形としては参考図のように1とトンだ方が石が働いています。

第三図、白1は「三目の真中」といわれる急所です。黒からも1の点に打つのが形です。白1と打たれると、黒い、ろ、はとなつても欠眼になります。

以上の三型共黒の石がダメヅマリになつていることに注意して下さい。△の点に白石が加わつて黒のダメヅマリの程度がひどくなると、黒の受ける圧力はさらにキビシくなります。

第四図、黒1とノビたとき白2と打つのが形です。黒から2の点に打たれると白の形は一ぺんに崩れてしまいます。2の点が即ち欠眼の筋です。これは三目の真中にも当ります。

このように相手の好点は大抵自分にも好点になります。筋というも、形というも、一つのものゝ裏表に過ぎません。



橋口初議
境敬一

戦前のメーデー
山田清三郎

日本にメーデーが行われたのは一九二〇（大正九）年からだつた第一回のこの年は、東京だけで開催され、集合地は上野公園、参加人員一、二〇〇名、司会者は鈴木文治、スローガンは、

一、吾人は悪法治安警察法第十七条の撤廃を要求す
一、吾人は恐慌来に際して失業の防止を要求す
一、吾人は人間としての、生活を保証する最低賃金法の設定を要求す

というのであつた。悪法治安警察法はその後なくなつたが、その代りにこれに幾倍も輪をかけた治安維持法が、一九二五年に生れ出た。これが戦前・戦時中を通して労働運動弾圧の最凶の武器として暴威をふるつた。

最低賃金制確立の問題は、こんにち労働者階級の当面最大の闘争目標の一つとなつた。その要求が三七年前の第一回メーデーのスローガンにすでに掲げられていたのは、新たな感慨をそそられる。

一九二一（大正一〇）年の第二回メーデーは、東京、大阪、神戸横浜、足尾で行われ、東京の参加人員は五、〇〇〇名、司会者松岡駒吉、スローガンは、

一、八時間労働制の即時実施
一、最低賃金制度の確立
一、兵役制度の革新

であつた。

一九二二（大正一一）年の第三回は、東京、大阪、神戸その他で開催、東京の参加者は六、〇〇〇名、司会者高山治郎市で、

一、労農ロシアの承認
一、八時間労働制の即行、生存権の確立

がスローガンに掲げられた。

この日、ロンドンにおけるメーデーの大デモは、日本大使館に押しかけ、日本のシベリヤ出兵に抗議するとともに、即時撤兵を要求した。

以後、戦前のメーデーは、一九三五（昭和一〇）年の第一六回メーデーを最後に、弾圧の強化で中止され、敗戦後の一九四六（昭和二一）年、第一七回メーデーとして盛大に復活、本年は第二八回メーデーを迎えるわけである。

私は、第二回メーデー以後、獄中にいた一九三一年の第一二回、一九三四年の第一五回を除いて、東京のメーデーに参加を欠かしたことはないが、忘れがたい思い出の一つは、検束さわぎで、私も幾度かやられた。

集合地は、赤坂山王台だつたこともあるが、多くは芝公園で解散地は上野公園や深川の越中島だつたこともある。当日は私服（特高）は総動員で、デモが通る要所要所に眼を光らして、張込んでいるたとえば、大手町、神田橋、末広町といつたぐあいだ。そしてこれはと思う人間を、行進の列から引つこぬきにかかるのだ。

わつしよ、わつしよ、鬨の声をあげて、関所を突破しようとする。私服の指図によつて、制服ががつしり腕を組む列の中に躍りかかつてくる、組合旗がひきさかれ、もぎとられる。負傷者が出る、ということも珍らしくなかつた。

そして、引つこぬかれたものは待機していたトラツクにのせられ警視庁や各署に運ばれて豚箱にぶちこまれるのだ。

第三回メーデーのときだつた。当時「新興文学」というプロレタリア文学雑誌に関係していた私は詩人の岡本潤や横沢千秋らとスクラムを組んで、関所の神田橋にさしかかつた。はたして私の顔を知る私服が私を見つけたと見えて、制服が三人ばかり私を目がけて躍りかかつてきた。わつしよ、わつしよと駆け出しながら、私の片手ははずされた。そのとたん、私はほとんど無意識に、警官の帽子をつかむと、あごひもをひきちぎつて、列外にほうり投げた。

空をきつて飛ぶ帽子に、どつとデモの歓声があがる。官給品をなくしてはたいへんと思つたのだろう、当の警官が帽子を追つかけるその他の警官も虚をつかれてひるむ。その間に私はみなに守られ、神田橋の関所を通過した。思い出のメーデーの愉快なひとコマだ。

一九三一年のメーデーを、私は獄内メーデーとして迎えた。その日、豊多摩刑務所の治安維持法の被告たちは、一周三十歩に足りぬ独居囚の運動場に出たとき、一人づつ隔てられた運動場の高いコンクリートの壁をこえて、地も響み下駄も割れとばかり、足を踏みしめ、踏み鳴らし、誰からともなく起る合図の懸声とともに、歩調をそろえ、メーデーのデモをたたかつたのである。

「囚われの身を知らぬ雄々しくもまた晴々とした行進の律動！」と、私はそのときの詩の一節にうたつたのだつた。

（機関紙通信より）

家庭
春にかかりやすい小児の病気

冬から春になると大人も子供もなんとなくのんびりした気分になりますが、このころ小児にとつて二三の流行病が始まりますからご注意下さい。

その代表的なものは麻疹（ハシカ）で、泉熱もぽつぽつと出ます。麻疹にかかつた後は、抵抗力が著しく弱くなつていますから、百日咳ができますし、ツベルクリン反応陽性の結核菌感染児は運が悪いと発病しかねません。麻疹の伝染力の強いことは他に類をみないほどですから、同一家族はもちろん集団の社宅では特に注意しましよう。いまは免疫血清（トプログリン）で発病を未然に防ぐか、疾病軽減できますので昔のように恐るるにたりませんが、小児にとつては一度はかからなければならない大病のようです。麻疹でとくに注意したいのは、眼を犯され角膜軟化症を起し易いことです。これはビタミンAの欠乏からくるもので、その補給の意味からも卵黄、バターなどビタミンAの多い食事を与えることを忘れないで下さい

ビタミンの知識

ビタミンはちようど機械の潤滑油のようなもので、身体の中のいろいろな器管の働きをなめらかにする重要な栄養素です。そのビタミンが生活におよぼす影響を調べてみましよう。

小児＝発育には特に必要なもので大人と同量のビタミンを要求します。Aは成長をすすめ、骨と歯の発育をたすけ、伝染病の抵抗力を強める役割をします。原因不明の下痢はB1不足によることが多いのでお母さんの注意が大切。B1の含有量は牛乳が母乳の三倍ですDは日光にあたると体内で他の物質から作られますから、つとめて戸外に出すようにしましよう。

妊娠＝妊娠中の母体は僅か十カ月の間に体内で胎児を育てるのですから、ビタミンの消費が盛んになります。Aが欠乏したときは妊娠中毒症状を起し、三—四カ月の胎児の死亡の原因にもなります。B1不足のときはハキケが強く、B2は三カ月目くらいから胎児の要求量が著しく高くなりますから、とくに心掛けておきましよう。Cの欠乏は早期に妊娠中絶、胎児の発育不良などの原因になります。

美容＝近ごろは化粧品を使うだけではあきたらず、皮膚をシンから健康美にしようという合理的な考えが生れてきました。皮膚がすべすべしているのはビタミンAのためで不足するとザラザラしたさめ肌になります。口唇をなめらかにするにはB2が必要です。